

花だん・農園づくり

畑仕事をしながら介護予防ができるということを知った住民2名と地域包括支援センター中央本町の職員1名で令和2年にスタートした農園。令和4年より自主グループ「華クラブ」として月1回花だん・農園づくりを特別養護老人ホーム中央本町杉の子園で行っています。口コミで参加者が増え、今では10名程度が参加しています。

現在、区の花いっぱいコンクール※にも参加し活発に活動しています。

「地域の方が交流しお互いにゆるやかな見守りができる活動を今後も継続したい」と職員の方が話してくれました。



住民の方から球根を寄付されたチューリップも、愛情をたっぷりもらい大きく花開いています。皆さんの笑顔も満開です。

※花いっぱいコンクールとは…地域の団体等を対象に区で課題とした花を育て、春と秋の年2回審査をし総合点で賞を決めるもの。花の育成を通じて、まちづくりや防犯、地域コミュニティの活性化を図る区の取り組み。



ラディッシュ、水菜、らっきょうを収穫。「集まりに参加することが元気の秘訣！」と笑顔で教えてくださいました。



活動中、皆さんの笑い声が絶えず、とにかく楽しんで参加されていました。地域の方にさらに広がると良いですね！

取材日：令和5年4月28日 参加者数：8名

取材メモ：久しぶりに参加した方の笑顔とその方を気遣いメンバー数名で自宅まで見送る姿が印象的でした。(足立社協 水上 恭子)

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374